令 和 ４ 年 度 事 業 報 告

令和４年度は、北東北三県大型観光キャンペーンやいわて冬季観光キャンペーンにおいて、関係団体と連携して岩手県観光の魅力をＰＲした。また、県内では、コロナ禍で中止していたイベントの久しぶりの開催や国による水際対策の緩和などで、各地ににぎわいが見られるようになった。一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返したことやインバウンドの入込も限定的であったことから本格的な観光復活には至らず、原油高や物価高もあり、引き続き観光業界にとって苦難の１年であった。

観光庁の宿泊旅行統計調査による令和４年の本県の延べ宿泊者数（速報値）は、前年を上回ったものの、コロナ禍前の令和元年と比較すると大きく下回る状況となっている。また、いわて花巻空港国際航空便の運休継続などの影響により、本県の外国人延べ宿泊者数は前年を上回ったものの、令和元年と比較すると１割に満たない結果となっている。

こうした状況の中、当協会では、３年ぶりに大都市圏で国内観光や教育旅行の誘致説明会、商談会を現地開催したほか、県外旅行会社の沿岸地域への招待やオンラインでの商談会などにより誘致宣伝活動を行った。また、国によるインバウンドの入国制限の緩和を受けて、英語での接遇研修を開催するなど柔軟な事業運営に努めた。

さらに、国際観光の分野では、岩手県が実施する台湾の旅行会社招請や商談会に出席したほか、北東北三県・北海道ソウル事務所において、オンライン商談会や旅行会社の招請ツアー、意見交換会等を開催して、本県観光の紹介宣伝を行った。

その他の事業においても、県・市町村及び各観光協会や観光関係団体と連携し本県の魅力ある観光資源の宣伝と観光客の拡大に取り組んだ。

また、新たな観光需要に対応し、観光地の高度化を促進していくため、当協会が将来、登録ＤＭＯ（観光地域づくり法人）となることを視野にデータ分析マーケティングと観光地域づくり支援の機能強化に取り組むとともに、令和５年３月に候補ＤＭＯとして観光庁に登録された。

Ⅰ　観光宣伝紹介

1　観光情報の発信

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光情報総合サイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種イベントや桜等の季節の情報をはじめ、特集ページ「盛岡まち歩き 2023-伝統と生まれ変わり-」を掲載するなど、インターネットを通じた情報発信を行ったほか、県内自治体による宿泊助成事業の一元的な情報提供に努めた。

また、バナー広告を募集し掲載した。（４～６月　９社、７～９月　10 社、10～12 月　８社、１～３月　10 社、延べ 37 社掲載）

年　　度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
アクセス件数 （対前年度比）	2,683,117 件 （7.1%減）	2,714,039 件 （1.2%増）	3,785,462 件 （39.5%増）

旅の特集ページ

(2) 観光情報システム分担金事業

（公社）日本観光振興協会の観光情報総合サイト「全国 観るなび」を活用した情報発信のため「全国観光情報データベース」の整備・運用に係る分担金を拠出し、本県観光地等の知名度向上と誘客拡大を図った。

(3) パブリシティ*1有効活用事業

北東北三県大型観光キャンペーン「ドキドキ、キタキタ　北東北」等の広告宣伝として、タウン誌等を活用して本県の観光情報の発信に取り組んだ。

掲載年月	雑誌等広告媒体名	発行部数等	内　　容
R4．6	タウン情報誌７誌（アキュート７月号ほか）	25 万部（東北６県及び栃木県）	・「2022 年夏は岩手へＧＯ！」北東北三県大型観光キャンペーンのテーマに沿った観光宣伝紹介
R4．11	旅情報誌「遊人」（12 月・１月号）	３万部（九州）	・「歴史公園と平泉と菅公夫人、原風景と賢治の世界」宮沢賢治記念館、厳美渓、東日本大震災津波伝承館等の観光宣伝紹介

(4) 観光宣伝媒体作成事業

本県全体の観光地を紹介する岩手県観光案内図「いわて旅の地図」(20 万部) を作成し、観光客等に広く配布した。

表紙

いわての世界遺産・いわて満喫モデルコースページ

(5) 観光キャラクター活用事業

本県のＰＲキャラクター「わんこきょうだい」のグッズを配布・販売し、本県の認知度向上と誘客拡大に取り組んだ。

・販売個数	わんこきょうだい缶バッチ	637 個
	わんこきょうだいラバーストラップ	6 個
	そばっちぬいぐるみ	157 個
	そばっちぬいぐるみストラップ	1,002 個
	そばっち着ぐるみ帽子	14 個

協会内の販売コーナー

Ⅱ　国内観光客の誘致促進

1　国内観光客の誘致促進

(1) 観光客誘致説明会

大都市圏からの誘客拡大を図るため、いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京都、名古屋市及び大阪市において、旅行会社の担当者等を対象とした観光客誘致説明会(「いわての旅」観光商談会) を開催し、本県の魅力ある観光資源の紹介・宣伝を行ったほか、県内の観光・宿泊施設等との商談を通じて旅行商品の造成を促し、本県観光地等の知名度向上を図った。

会　　場	実　施　日	参加状況
東京会場 中野サンプラザ	R4．9．21	旅行会社（13 社 26 名)、岩手県側（40 名）
名古屋会場 名鉄グランドホテル	R4．11．8	旅行会社（10 社 18 名)、岩手県側（34 名）
大阪会場 ホテルメルパルク大阪	R4．11．9	旅行会社（14 社 25 名)、岩手県側（34 名）

全体説明会（東京会場）

個別商談会（大阪会場）

(2) エージェント（旅行会社）招待事業

沿岸地域の旅行商品の造成及び販売促進、観光客の誘客拡大を図るため、県外旅行会社を招待し、沿岸地域の景勝地や観光・宿泊施設、東日本大震災津波からの復興状況等の視察のほか、観光事業者等との意見交換会を行った。

実施日	招　待　者	主な視察先等
R4.9.14 ～9.16	1社14名 クラブツーリズム㈱	久慈市（やませ土風館）、三陸鉄道乗車体験（久慈駅～普代駅）、田野畑村（北山崎、北山崎観光船）、宮古市（学ぶ防災ガイド、浄土ヶ浜遊覧船、）、岩泉町（龍泉洞）、山田町（まち歩き）、釜石市（釜石大観音）大船渡市（キャッセン大船渡、穴通磯）、陸前高田市（東日本大震災津波伝承館）

・意見交換会　２回　岩手県側41名参加（14日18名、16日23名）

２　教育旅行の誘致促進

本県への教育旅行の誘致拡大を図るため、主要市場である北海道、東京都及び大阪府において、岩手県教育旅行誘致説明会を開催し、本県の教育旅行プログラムや受入態勢等について紹介宣伝を行った。

また、その他の本県への教育旅行の実績が多い地域について、広域でのオンライン説明会を実施した。

なお、主要市場及び入込が増加している地域の旅行会社の訪問により教育旅行の実施状況の情報収集を行うとともに、（公財）岩手県観光協会内「いわて教育旅行相談窓口」により教育旅行コンテンツ*2や商品造成に必要な情報の提供を行い旅行会社や学校に対して実施の支援を行った。

ア　いわて教育旅行相談窓口の設置

①　相談受付件数：32 件

②　相談者内訳　：学校 8 件、旅行会社 21 件、その他 3 件

③　相談内容　　：資料請求、体験メニュー、助成金などの相談

イ　説明会及び商談会

会　　場	実　施　日	参加状況
教育旅行説明会・札幌会場	R４．８．10	学校 11 校、旅行会社６社６支店 岩手県側 19 団体
教育旅行説明会・東京会場	R４．８．25	学校１校、旅行会社３社５支店 岩手県側 24 団体
教育旅行説明会・大阪会場	R４.11.10	学校２校、団体１団体、旅行会社３社３支店、岩手県側 21 団体
オンライン商談会 （北海道・関東旅行会社向け）	R４．７.25	旅行会社５社５支店 岩手県側 21 団体
オンライン商談会 （東北、関東、中部、関西旅行会社向け）	R４．２．１ ～２．２	旅行会社延べ７社 21 支店（１日４社 11 支店、２日３社 10 支店）、岩手県側延べ 27 団体

安藤部会長挨拶（東京会場）

個別商談会（大阪会場）

ウ　訪問活動

実施日	訪　　問　　先	訪　　問　　者
R４．６．７ ～６．８	札幌市内及び函館市内の旅行会社（９社）	２名（教育旅行誘致宣伝部会幹事長及び事務局）
R４．７.20 ～７.22	東京都内の旅行会社（６社） 修学旅行関係団体（２団体）	４名（部会幹事及び事務局）
R４.10. ５	さいたま市内の旅行会社（３社）	１名（部会事務局）
R４.10. ６ ～10. ７	大阪市内の旅行会社（６社） 修学旅行関係団体（１団体）	２名（部会幹事長及び事務局）
R４.11.11	浜松市内の旅行会社（２社）	１名（部会事務局）

エ　現地視察の支援

①　学校

実施日	来　訪　者	主な視察先
R4．5．19 ～ 5．20	神奈川県相模女子大学高等部２名、旅行会社１名	雫石町～八幡平市～平泉町（小岩井農場、安比高原、中尊寺）
R4．6．18	神奈川県横須賀市立武山中学校７名	花巻市（道奥金婚亭）
R4．7．30 ～7．31	東京都立農業高等学校２名	一関市～盛岡市～岩泉町～宮古市～陸前高田市（中尊寺、小岩井農場、盛岡手づくり村、龍泉洞、浄土ヶ浜、東日本大震災津波伝承館）
R5．3．11 ～3．12	神奈川県平塚市立土沢中学校	盛岡市～一関市～平泉町（盛岡市内自主研修、厳美渓、中尊寺）

②　旅行会社

実施日	来　訪　者	主な視察先
R4.11.15 ～11.17	㈱ＪＴＢ（５名） （東北各県）	平泉町（平泉世界遺産ガイダンスセンター）、大船渡市（防災アドベンチャーゲーム）、雫石町（小岩井農場）、盛岡市（フォトロゲイニング*3）

オ　事前（事後）学習の支援

実施日	対　象　者	主な内　容
R4．5．14	神奈川県相模女子大学高等部（320 名）	事前学習　岩手の観光探究学習 協会職員によるオンラインによる講話
R4.12. 1 ～12.28	神奈川県相模女子大学高等部	事後学習　生徒が制作した岩手の観光ＰＲポスター（320 点のうち）優秀作品 21 点を掲示

カ　訪日教育旅行の誘致宣伝

コロナ収束後の訪日教育旅行の再開を見据え、県と連携し、ビジット・ジャパン台湾訪日教育旅行促進事業のオンライン個別相談会への参加やモニターツアー招請校へのグッズの提供によるＰＲを行った。

Ⅲ　国際観光の推進

１　外国人観光客の誘致宣伝

（一社）東北観光推進機構及び岩手県と連携し、台湾での現地旅行会社向け東北観光セミナー・商談会や一般向けの東北ＰＲイベント「日本東北遊楽日」において県内観光地等のＰＲを行った。

ベトナムでの現地イベント、ジャパンベトナムフェスティバルにおいて、岩手県観光ポスターの掲示、グッズの提供により県内観光地等のＰＲを行った。

２　外国人観光客の受入

(1) 国際航空便歓迎行事等

新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、いわて花巻空港の国際航空便が運休していたため歓迎行事は実施しなかった。

なお、花巻空港国際航空便歓迎実行委員にて、台湾市場向け歓迎メッセージ動画を作成し、ＳＮＳ*4等で発信した。

(2) 外国人観光案内所運営支援（いわて・盛岡広域観光センター）

盛岡駅２階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」内に設置されている「Ｖ案内所*5」の運営に対し経費の一部を負担した。

(3) 外国人観光客受入態勢整備事業

岩手県が行う台湾市場向け商談会・意見交換会に参加し、情報交換するとともに、一部経費を負担した。

11 月 19 日花巻温泉ホテル紅葉館

2 月 19 日　盛岡つなぎ温泉ホテル大観

３　北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営（県受託事業）

北東北三県及び北海道が共同で設置している「北東北三県・北海道ソウル事務所」の管理運営を行った。また、韓国旅行会社と観光事業者とのオンライン観光商談会や、韓国旅行会社の招請ツアー及び意見交換会を実施し、旅行商品造成の支援を行った。更に、韓国スタッフによるＳＮＳ等での発信に協力し、韓国での本県観光地等の情報発信に取り組んだ。

ア　オンライン観光商談会

実施期間	参加者
R４.11.29～12.14	岩手県側９団体、韓国側 16 団体 （４道県全体　４道県側 29 団体、韓国側 26 団体）

イ　招請ツアー

実施日	参加者	主な視察先等
R５．２．８～２．10	韓国旅行会社等 ４団体	夏油高原スキー場、八幡平パノラマスキー場、 八幡平下倉スキー場、道の駅雫石あねっこ

・意見交換会（2.9 実施、会場 八幡平マウンテンホテル　岩手県側 12 団体参加）

招請ツアー　下倉スキー場

意見交換会

４　台湾市場向け商談会等手配業務（県受託事業）

令和４年 11 月 19 日（土）開催の「台湾市場向け商談会及び意見交換会」に係る会場及び通訳等の手配及び支払い等を受託し実施した。

５　第２回台湾市場向け商談会等手配業務（県受託事業）

令和５年２月 19 日（土）開催の「第２回台湾市場向け商談会及び意見交換会」に係る会場及び通訳等の手配及び支払い等を受託し実施した。

Ⅳ　受入態勢の整備

１　来県する観光客への対応

(1)「いわて観光おもてなしセンター」・「V 案内所」管理運営

本県の観光情報を総合的に提供するため、協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置し、来訪、電話、手紙及びメール等での本県観光に係る意見、要望、相談及び資料請求等に対応した。

また、外国人観光客に対して情報を提供する「V」案内所を協会内に設置し相談等に応じたほか、国内外からの観光客に対し各種情報を提供した。

ア　観光情報等の問合せへの対応

区　分	令和２年度	令和３年度	令和４年度
観光相談	1,776 件	1,523 件	2,303 件
資料送付	890 件	772 件	1,182 件
合　　計	2,666 件	2,295 件	3,485 件

イ　うち、外国人観光客からの問合せへの対応状況

区　分	令和４年度
問合せ別件数	窓口：２件　電話：４件　FAX：０件　電子メール：10 件
内容別件数 （重複あり）	イベント・個人旅行・観光一般： 11 件　印刷物：２件　交通：４件 宿泊：　０件　　食事：　１件　娯楽：　０件　生活、その他一般：３件

ウ　苦情等への対応状況　（計　17 件）

区分	件数	主　な　内　容
意　見	10 件	① イベントでの俳優起用について ② 公共交通機関を利用した観光客や少人数旅への配慮について ③ 登山者向けの道標整備について ④ 全国旅行支援に伴うと思われる宿泊料値上げについて ⑤ 店での過剰な新型コロナウイルス感染症対策について ⑥ 感染症対策を指示するスタッフの対応について ⑦ 提供数の少ない商品のパンフレット掲載について ⑧ 実際と異なる情報のホームページ掲載について ⑨ イベント対応するスタッフの教育について ⑩ タクシー乗務員の対応について
要　望	１件	① 北海道南地域との交流活性化について
苦　情	６件	① 販売上の注意喚起やスタッフの対応について ② 宿泊施設の寝具について ③ 野焼きによる煙・悪臭について ④ 廃棄物処理について ⑤ 宿泊施設での紛失物への対応について ⑥ 旅行した際の食事内容や料金について

(2) いわて・盛岡広域観光センター運営支援

本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、本県の観光情報の提供や相談対応等を行う盛岡駅２階南口の観光案内所「いわて・盛岡広域観光センター」での運営経費の一部を負担した。

区　分	令和２年度	令和３年度	令和４年度
来訪件数	8,902 件	10,298 件	20,551 件
電話・書面	717 件	958 件	1,145 件
宿泊案内	542 件	846 件	1,840 件

２　観光人材の育成

(1) ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドのガイド技術の向上とガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」(事務局：(一社)釜石観光物産協会、加入団体 34（ガイド団体 22、支援団体 12)）の活動を支援した。

ア　視察研修

実施日	参加者	主な視察先
R４.12.６～12.　７	観光ガイド等 39 名	釜石橋野鉄鉱山、釜石大観音、鵜住居トモス、鵜住居復興スタジアム

(2) 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、各団体から他の模範とするに足りると認められ推薦された者を優良従事者として表彰した。

※　岩手県主催の「令和４年度岩手県商工観光業表彰（知事表彰)」と合同で実施。

・期日　令和４年５月 16 日（月）

・会場　盛岡グランドホテル

・被表彰者　11 名

	推薦団体名	所属団体名	氏　名
宿泊・観光施設関係	一般社団法人 大船渡市観光物産協会	株式会社海楽荘	近　藤　千賀子
	一般社団法人花巻観光協会	株式会社エーデルワイン	川　村　草風子
		花巻温泉株式会社	畠　山　勝　弥
		志戸平温泉株式会社	畠山　ロサンナ
		志戸平温泉株式会社	多　田　正　治
	二戸市観光協会	二戸市ふるさと振興株式会社	山　口　カツ子
	洋野町観光協会	マリンサイドスパたねいち	村　松　カツエ
		マリンサイドスパたねいち	佐々木　直　美
交通機関関係	公益財団法人 盛岡観光コンベンション協会	岩手中央タクシー株式会社	鳩　岡　三智夫
その他、観光関連施設関係	一般社団法人花巻観光協会	一般社団法人花巻観光協会	越　後　真　弓
	一般社団法人 釜石観光物産協会	株式会社岩手旅行社	奈　良　郁　子

(3) 接遇及び観光課題研修事業

本県の「おもてなし」の向上や観光課題把握のため、県内の観光事業者や団体職員を対象とした研修会（会場とオンラインとの併用）を開催した。また、賛助会員が主催する県内各地域の接遇研修会に、本協会が認定した「いわて観光おもてなしマイスター*6」等を講師として派遣する事業を行った。

ア　おもてなしの心向上研修会　合計３回

実施日	内　容	会　場	参加者
R４.10. ４	初級編 おもてなしの基礎	盛岡地域交流センター（マリオス）	賛助会員等 23 名 （うちオンライン 14 名）
R４.11. ２	インバウンド英語編 英語での対応	盛岡地域交流センター（マリオス）	賛助会員等 16 名 （うちオンライン 10 名）
R４.12. ８	中上級編 スキルアップのポイント	盛岡地域交流センター（マリオス）	賛助会員等 25 名 （うちオンライン 14 名）

イ　接遇研修会講師派遣事業　合計３回

実施日	実施団体	会　場	参加者
R４.12.14	㈱平泉観光レストセンター	平泉レストハウス	同職員、ガイド等 35 名
R５．１.25	岩泉町観光協会	岩泉町民会館	観光関係者 16 名
R５．１.27	軽米町観光協会	軽米町農村環境改善センター	観光関係者 13 名

中上級編

岩泉町観光協会での様子

３　多様な顧客ニーズへの対応

(1)「いわてバリアフリー*7観光情報案内所」管理運営

協会内に「いわてバリアフリー観光情報案内所」を設置し、協会ホームページ「いわての旅」の「いわてバリアフリー観光情報案内所」ページで、車いすの貸出や車いす対応の客室の有無など県内宿泊施設等の対応状況の情報を発信し、電話などの問合せに対応した。

また、一人ひとりが多様な人のことを思いやる「心のバリアフリー」について、観光関係者に、理解を深め、様々な現場で実践していただくため、研修会を開催した。

・相談件数　９件

ア　心のバリアフリーでおもてなし研修会

・実施日　令和４年 11 月 15 日（火）午前、午後計２回
・会　場　盛岡地域交流センター（マリオス）
・参加者　賛助会員、観光案内所職員　12 名
・内　容　心のバリアフリーでおもてなし
　　講師　公益財団法人日本ケアフィット共育機構
　　三浦　貴子　氏

(2)「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦 2000 年（平成 12 年）に、県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となるよう５月 16 日を「いわて観光の日[*8]」と定めており、この日を記念して講演会を開催した。

・　実施日　令和４年５月 16 日（月）
・　会　場　盛岡グランドホテル
・　出席者　60 名
・　講　演　演題　ポストコロナの観光戦略～観光で未来を拓く地域に必要な戦略とは～
　　講師　株式会社リクルート　じゃらんリサーチセンターセンター長　沢登　次彦　氏

講演会の様子

Ⅴ　関係団体等への支援と連携

1　関係団体への支援

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会の活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会が行うスキー客等の冬季観光客の誘客活動を推進するため、同協議会に対し負担金を拠出した。

(3) 各種キャンペーン支援事業

ア　観光関係催事への参加

県や関係機関等が実施する観光イベント等に参加し、観光ＰＲを行った。

実施日	開催地	イベント名称等
R４．７．２	盛岡市	北東北三県大型観光キャンペーン　オープニングイベント
R４．７．６、９、10	東京都	いわて産直市
R４．９．９、10	花巻市	ＪＲ東日本＆ＪＡＬ連携企画いわて花巻空港到着お出迎え
R４．９.25	盛岡市 花巻市	北東北三県大型観光キャンペーン　クロージングイベント
R５．１．７～９	東京都	いわて冬季観光キャンペーン PR オンライン中継イベント
R５．１.18、19	東京都	組合まつり in TOKYO2022（主催：東京都中小企業団体中央会）
R５．３.21	東京都	鉄道開業 150 年ファイナルイベント

北東北三県大型キャンペーン
オープニングイベント

いわて冬季観光キャンペーン PR
オンライン中継イベント

鉄道開業 150 年ファイナル
イベント

イ　後援、共催

八幡平市観光協会が主催する「八幡平スプリングフェスティバル 2022 不動の滝まつり」など、31 のイベント等に対して後援・共催を行った。

(4) 賛助会員のニーズ把握及び自主的取組への支援

令和４年 10 月に賛助会員アンケート調査を実施し、課題となっていることや当協会の取組や行政に期待することなどの把握に努め、11 月に結果を賛助会員にお知らせした。また、県と結果を共有するとともに、事業計画や運営の参考とした。

２　関係団体等との連携

(1)（公社）日本観光振興協会への拠出金

（公社）日本観光振興協会の全国広域観光振興事業に対し拠出金を拠出した。

(2)（一社）東北観光推進機構事業

東北６県・新潟県･民間団体等で構成する（一社）東北観光推進機構のオール東北による海外プロモーション*9 や教育旅行の誘致活動などを通じて本県への観光客の誘客拡大を図るため、機構に対し負担金を拠出した。

(3) 北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県観光立県推進協議会が行う香港旅行会社招請事業などを通じて本県への観光客の誘客拡大を図るため、協議会に対し負担金を拠出した。

(4) 観光宣伝事業等負担

いわての物産展等実行委員会等の観光関係団体等に対し負担金を拠出した。

Ⅵ　協会の機能強化

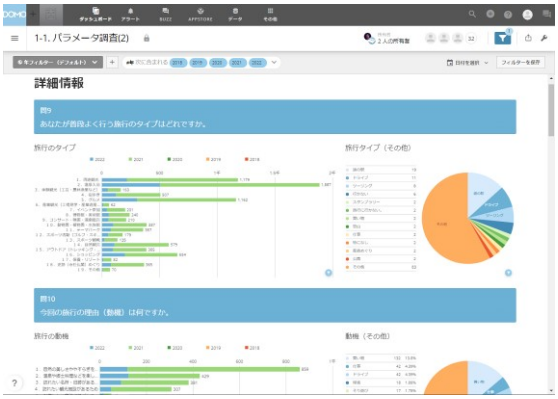
１　魅力ある観光地域づくりへの支援

(1) データ分析・マーケティング*10の強化

地域資源を生かした特色ある優れた観光地域づくりを推進するため、県や専門人材と連携し、各種観光データの収納・分析機能を備えた「いわて観光データマネジメントプラットフォーム（いわて観光ＤＭＰ）*11」を構築するとともに、マーケティングの必要性やノウハウの習得を目的とした「いわて観光マーケティング実践塾（全５回)」を開催した。

実施日	テーマ及び内容
R４．７．22	第１回「なぜ今ツーリズム産業にデジタルマーケティングが必要なのか」 ・地域における観光ＤＸ*12とは ～なぜデジタルマーケティングが必要か～ ・いわて観光データマネジメントプラットフォームについて
	参加者 67 名（オンライン開催）
R４．８．24	第２回「地域におけるデータの重要性」 ・顧客とのコミュニケーション～Google と LINE を活用したマーケティング～ ・地域におけるデータの重要性
	参加者 49 名（オンライン開催）
R４．10．18	第３回「データ分析のスキルアップ」 ・地域におけるデータ分析のコツ ・観光デジタルマーケティングに強くなる学び
	参加者 33 名（オンライン開催）
R４．11．29	第４回「いわて観光 DMP の活用実践術」～データ分析・マーケティング編～ ・いわて観光 DMP で利用している DOMO の強み ・実際に使ってみよう！～岩手県施策のマーケティングデータを活用した分析～
	参加者 48 名（オンライン及び現地開催／会場：マリオス 18 階）
R５．１．18	第５回「いわて観光 DMP のこれから」～国に施策と岩手県の観光戦略づくり～ ・国が推進する観光地域マーケティングについて ・いわて観光 DMP と観光地域づくりについて ・いわて観光 DMP の今後の展望について
	参加者 33 名（オンライン開催）

開催状況（第４回）



いわて観光 DMP 操作画面

(2) 観光地域づくり実践地域の育成

御所野縄文遺跡などの地域資源を活かした交流人口の拡大や、旅行消費による地域経済の活性化を目指して、一戸町から観光地域づくり戦略策定業務を受託し、支援を行った。

専門人材を派遣して、町内事業者による「一戸町観光地域づくり戦略」検討部会を立ち上げ、ヒアリングや各種調査から強み・課題を分析し、目指したい姿やアクションプラン*13等の策定に取り組んだ。

・検討部会

回　数	実施日	内　容	参加人数
第１回	R４．10．25	検討部会の実施方針の説明、現状と課題の抽出	13 名
第２回	R４．11．15	目指したい姿の検討、アクションプランの検討	15 名

第３回	R４.12.16	戦略の柱の検討、アクションプランの検討	13 名
第４回	R５．１.30	アクションプランの検討	10 名
第５回	R５．３．１	目指したい姿、戦略の柱、アクションプランの確認	15 名
第６回	R５．３.23	『一戸町観光地域づくり戦略』の確認	13 名

ヒアリング

検討部会

1　パブリシティ：マスコミ媒体にニュースや記事として取り上げられるよう働きかける活動のこと。
2　コンテンツ：中身、内容。
3　フォトロゲイニング：時間内にフォトポイントを回り、得点を集めるスポーツ。
4　ＳＮＳ：ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。Facebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)、LINE(ライン)などインターネットを介して人間関係を構築できるスマートフォン・パソコン用の Web サービスの総称。
5　Ｖ案内所：日本政府観光局が認定した外国人観光客案内所（ビジットジャパン案内所)。
6　いわて観光おもてなしマイスター：マイスターは「名人」などを意味するものであり、いわて観光おもてなしマイスターは、おもてなしの心と豊富な観光知識で観光客に応対することができる方として、当協会が認定している。
7　バリアフリー：年齢的特徴、身体的能力、意識的にみられるバリア（障壁）の要素を取り除くことで、高齢者や障がい者も関係なく、誰もが過ごしやすい環境を整えること。
8　いわて観光の日：松尾芭蕉が東北・北陸地方に旅立った日である５月 16 日を「いわて観光の日」として制定。
9　プロモーション：商品（サービス）の販売、認知、理解、好感度、ブランド価値を促進させる一切の活動。
10　マーケティング：目的地が観光客を受け入れるに当たり、観光客のニーズや需要を予測、把握し満足させること
11　いわて観光データマネジメントプラットフォーム（いわて観光 DMP)：科学的アプローチによる合理的な判断に基づき、着地整備の効果的な展開や戦略的なプロモーションを実施するため、令和４年度より岩手県が整備している各種観光データの収納・分析機能を備えたシステムのこと。
12　観光 DX：業務のデジタル化により効率化やデジタル化で収集されるデータ分析・利活用により、ビジネス戦略の再検討や新たなビジネスモデルの創出の変革を行うこと。
13　アクションプラン：目標達成のために必要なタスクをリスト化したもの（行動計画）のこと。

事業報告の附属明細書

公益財団法人岩手県観光協会の令和４年度事業報告において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。